



# MARUZUKA

浜松市立丸塚中学校  
学校だより 第9号  
令和8年1月20日

3学期が始まり、生徒たちが活発に活動する姿が学校に戻ってきました。2026年も保護者・地域の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

## ◇第3学期「始業式」校長式辞より

始業式の校長式辞の中で、2学期に実施した生徒アンケートの結果より「自分にはいいところがある」の質問に肯定的に答えた生徒が前年度よりも4.3%、「明日も来なくなる中学校だと思ふ」の質問に肯定的に答えた生徒が前年度よりも2.7%それぞれ上昇していることが示されました。

今年度本校は「『対話・信頼・感謝』の風土づくり」の重点目標のもと、対話を重視した活動に力を入れてきました。授業はもとより、様々な活動において対話を重視した活動に取り組み、対話を通して相手を信頼し、それが互いに感謝の気持ちを持つことへとつながることを期待して取り組んでまいりました。「自分にはいいところがある」の質問に肯定的に答えた生徒が前年度よりも4.3%上昇したことは、自己肯定感の高まりを示しているといえます。また、「明日も来なくなる中学校だと思ふ」の質問に肯定的に答えた生徒が前年度よりも2.7%上昇したことは、互いに信頼し、感謝の気持ちをもつことの高まりを示しているといえます。このことから、今年度の教育活動は一定の成果が見られたのではないかと感じています。しかしながら、「自分にはいいところがある」の質問に肯定的に答えた生徒が前年度よりも4.3%上昇しているとはいえ、その割合は72.5%にとどまっているのが現状で、まだまだ改善の余地が残されていると思います。

そこで、自己肯定感のさらなる高まりを期待すべく、校長より令和8年度の本校の重点目標が示されました。それが「『対話・合意・調和』の風土づくり」です。対話を通して相互理解を深め（対話）、お互いを尊重する中でそれぞれの考えを調整し、「納得解」を導き出す（合意）。そして、矛盾や対立なくみんながバランスよく釣り合いがとれる状態になることで心地よさを感じる（調和）。「対話」、「合意」、「調和」を経てお互いの信頼関係がより深まることで、自分も一人の人として尊重され、居心地のよい環境を創り出していくことで、自己肯定感をさらに高めることができると考えます。

今年度も残り3か月となりました。1月に入り、本格的な寒さを迎つつあります。感染症対策をしっかりとした上で、生徒たちが健康で毎日を過ごせるよう留意してまいります。御家庭におかれましても健康管理に御配慮くださいますようお願いいたします。そして、今年度をしっかりと締めくくり、令和8年度に向けて、丸塚中のさらなる高みを目指して邁進していきます。